

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	りんご並木活性化事業	会計	一般会計	事業No.	457	施策順No.	46-002
		事業種別	政策・重点	予算科目	7-1-6-13-16		
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり			課等名	商業・市街地活性化課		
施策	46 活気ある街づくりの推進			事業期間	開始	20	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	①市民及び観光客 ②りんご並木沿いの空店舗等(空事務所、空地)						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		市民		106630	105691	106000	106000	
		空店舗等(空事務所・空地)数		2	1	1	1	
意図	①りんご並木を訪れる ②活用される						目標達成度 A	
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績		23年度目標
	りんご並木を訪れた人の数		1380	1438	1250	1508		1300
	新たに活用された店舗数		2	1	1	1		1
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	りんご並木は、飯田市民の心のシンボルと認められながらも、それぞれの団体・市民が関わりの持ちやすい場とはいえなかったが、りんご並木まちづくりネットワークの設立によって、誰もが、志を共有しながら活動に取り組むことができるようになった。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<p>大火の復興の中で生まれ、飯田市民の象徴として豊かに成長したりんご並木を、美しい街を希求し創造する飯田市民の心の拠り所として位置づけるために以下の事業を行う。なお、これらの事業は、中心市街地活性化法に定められた中心市街地活性化協議会により協議し、多様な主体によって実施する。</p> <p>(1)にぎわいのある道づくり ・テナントミックス(空き店舗活用等) ・イベント実施 (2)歩行者にやさしい道づくり ・交通規制 ・歩行者天国の実施 (3)文化の香り漂う道づくり ・国際的・芸術的・歴史的な文化事業展開 ・ギャラリー・プチミュージアム配置(空き店舗活用) (4)市民参画の道づくり ・並木クリーンアップ ・沿道商店等企画展開支援</p>		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 歩行者天国における交通規制の実施及びイベント開催支援 2 空き店舗を活用した沿道活性化支援 3 並木クリーンアップ 4 りんご並木ストリートマネジメント研究会の開催及びりんご並木周辺商業空間の整備・活用基準の作成 5 りんご並木の恒常的交通規制の方向付け	1 歩行者天国及びその他のイベントの実施回数 2 空き店舗等活用件数 3 並木クリーンアップ実施回数 4 りんご並木ストリートマネジメント研究会の開催数	1 9回 2 1件 3 14回 4 10回
23年度実施計画	1 歩行者天国における交通規制の実施及びイベント開催支援 2 空き店舗を活用した沿道活性化支援 3 並木クリーンアップ 4 りんご並木ストリートマネジメント研究会の開催及びりんご並木周辺商業空間の整備・活用 5 りんご並木の恒常的交通規制のための社会実験の実施	1 歩行者天国及びその他のイベントの実施回数 2 空き店舗等活用件数 3 並木クリーンアップ実施回数 4 りんご並木ストリートマネジメント研究会の開催数	

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金	900	900	900	特定財源内訳、補足事項 (国)まちづくり交付金(4.5/10) 但し事務費を除く (そ)寄附金
		県支出金				
		起債				
		その他		35		
		一般財源	1,368	1,329	1,400	
	計(A)	2,268	2,264	2,300		
	正規職員所要時間		1,200			
	臨時職員等所要時間					
	人件費計(B)		4,291			
	トータルコスト A+B		6,555			

4 事業に対する市民や議会の意見

<ul style="list-style-type: none"> りんご並木歩行者天国を試みながら、市民の憩いの場所に整えてきたと考えている。(市議会) 「りんご並木の新しい通行方法を検討されたい。」(市議会)という提言に対しては、21年度に実施した交通規制実験と通行量調査の結果を踏まえて、周辺住民や業者との話し合いの場を設けながら、方向性を探っていく。
--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	中心市街地に人や物が集まり活気があらわれる。	施策の成果指標又はムトス指標	訪れた人数と滞在時間 仕掛けたイベントの数と来訪者数
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	平成20年4月りんご並木まちづくりネットワーク設立。以来、4月から11月まで毎月1回の歩行者天国を実施している。りんご並木の歩行者天国でのんびり過ごす休日の過ごし方が定着してきた。		
	後期に向けた課題	歩行者天国開催時の賑わいを平常時にどう繋ぎ、どう活かしていくかが課題。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	多様な主体の参画を促し、市が車両通行規制などの環境を整えることで、自由に生き生きした市民活動が繰り広げられている。		
	後期に向けた課題	歩行者天国を活用した市民活動のニーズは高まっており、エリア拡大や実施回数の増加などの検討が必要。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	市は交通規制を行い、市民活動の受け皿となる環境整備を行っており、その環境下で行われるイベントなどの活動はすべて市民サイドで行われている。その活動は年々内容が充実してきている。		
	後期に向けた課題	歩行者天国を活用した市民活動のニーズは高まっており、エリア拡大や実施回数の増加などの検討が必要。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	市と各団体・市民との役割分担が明確な仕組みを作り上げている。多様な活動主体が、応分の人的及び経費の負担を行っている。		
	後期に向けた課題	現在の仕組みが継続する限り、特に課題はない。(それぞれの人間関係を軸にしたしなやかな連携の仕組みであるため、都度課題解決が行われている。)		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしましたか、又は、配慮しましたか	4年間の振り返り	①りんご並木まちづくりネットワークに参画する30ほどの団体。各団体の自主的な発意と行動で活動が行われている。 ②活動の受け皿となる環境を整えている。		
	後期に向けた課題	参画団体は増加傾向にあり、歩行者天国のエリア拡大や実施回数の増加など、市の対応が求められてきている。		
全体を通じて	4年間の振り返り	多様な活動主体が多く参画することによって、りんご並木は地域資源としてのブランド化が進んでおり、ますますシンボル性を高めている。		
	後期に向けた課題	平常時の賑わいや活動創出のため、恒常的な交通規制に向けた合意形成を重ねていく。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------